



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 13 / 2007年2月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第13号をお届けします。

今回は、3月20日（火） - 23日（金）に名城大学天白キャンパスで開催予定の2007年総合大会と、「AP研出版委員会」の活動についてお知らせします。

【1】2007年総合大会

1月17日（水）に機械振興会館において、2007年総合大会プログラム編成委員会が開催され、総合大会のプログラムが確定しました。図1および図2に、ソサイエティ毎、通信ソサイエティの研究会毎の大会発表件数割合（投稿ベース）を示します。通信ソサイエティの発表件数は総合大会全体の約半分を占め、その中でAP研は約1/5を占めていることが分かります。図3にAP研関連の大会発表件数の年次推移を示します。今回の総合大会でのAP研関連の発表は254件です。

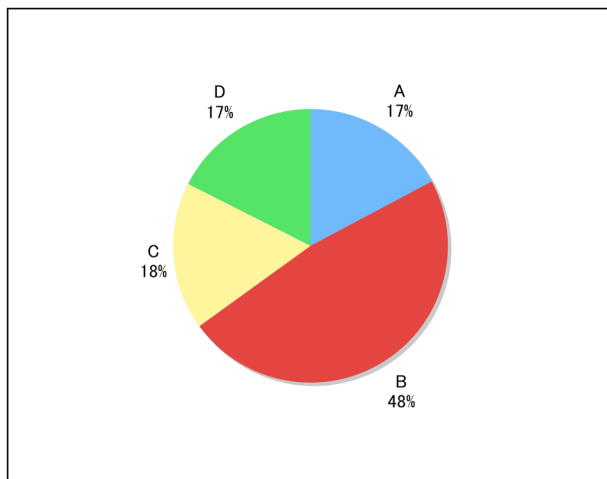


図1. ソサイエティ毎の大会発表件数割合

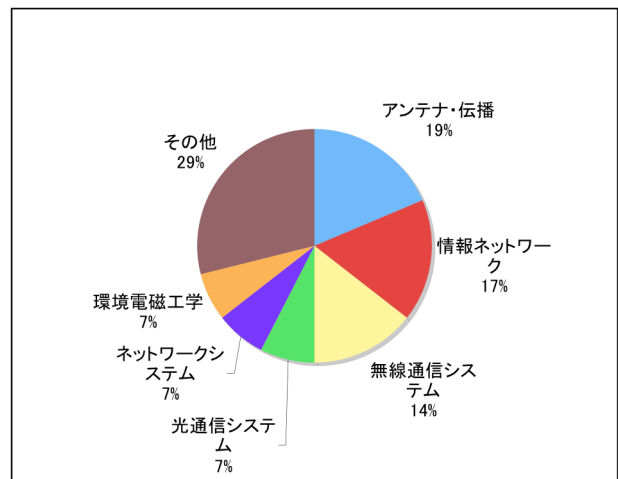


図2. 通信ソサイエティの研究会毎の大会発表件数割合

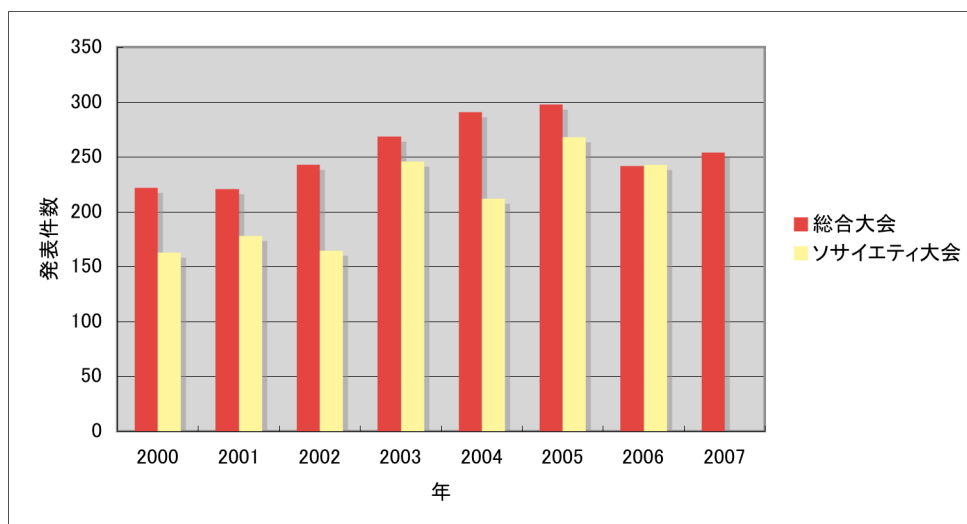


図3. AP研関連の大会発表件数の年次推移

【2】AP 研出版委員会

2004 年 12 月 16 日に機械振興会館において開催されたアンテナ・伝播研究専門委員会（2004 年下半期）において AP 研の組織再編が審議され、「AP 研出版委員会」は、「AP 研国際委員会」とともにその設置が認められ、AP 研各種委員会のひとつとして発足しました。AP 研出版委員会は、アンテナ工学ハンドブックの改訂をはじめとして、アンテナ・伝播研究会の出版物の提案・企画に関わる事項を審議し、専門委員会にその結果を報告・提案することを担務としています。

AP 研出版委員会は、この 1 年間、アンテナ工学ハンドブックの改訂と、アンテナ・伝播研究会 40 周年記念 DVD の作成を中心に活動を進めてきました。12 月 25 日に開催された委員会において、「アンテナ工学ハンドブック（改訂版）」の本年 9 月の刊行が確認され、刊行に向けての編集作業が続けられています。一方、DVD は、アンテナ・伝播研究会 40 周年記念事業の一環として計画したもので、1977 年以降の信学技報、AP 研関連の論文特集号が DVD に収録されています。この DVD は、昨年 12 月に完成し、販売されています。DVD の収益は、AP 研の表彰の原資として使われます。

■2006 年度の AP 研出版委員会の委員は以下のとおりです。

委員長：	澤谷 邦男（東北大）	
幹事：	宇野 亨（東京農工大）	
委員：	安藤 真（東工大）	新井 宏之（横浜国大）
	伊藤 公一（千葉大）	井原 俊夫（関東学院大）、
	唐沢 好男（電通大）	菊間 信良（名工大）
	庄木 裕樹（東芝）	堀 俊和（福井大）
	牧野 滋（三菱電機）	山口 芳雄（新潟大）

AP 研出版委員会について、ご意見がありましたら、ap_ac-shuppan@mail.ieice.org まで。

【3】AP 研副委員長の戯言

今年は暖冬ですね。寒い季節の中で、「カニ、寒ブリ、カキ鍋、のど黒を着に、美酒を飲む」という構図が、ぼけて感じられます。やはり、北陸の寒さ、厳しさが、食べ物を美味しく感じさせるのでしょうか。今週末（1 月 23 日にこの原稿を書いています）、1 月 AP 研が福井で開催されますが、参加者の皆様の要求に応えられるのでしょうか。1 月 AP 研が終わると、大学人にとって最も忙しい時期に突入します。2 月 AP 研は、網走の予定が東京（機械振興会館）に変更になりました。

昨年 1 月から、福井の話題を中心に、「AP 研副委員長の戯言」と題して、くだらないことを書いてきましたが、そろそろ終わりに近づいてきました。少しは、マイナーな「福井」をご理解いただけたでしょうか。ご紹介しましたように、福井県は、「住みやすさ日本一」の上位に常にランクされています。また、昨年 10 月 14 日発行の週刊東洋経済に掲載された「これが決定版！本当に強い大学」特集では、福井大学が 14 位にランクづけられました。これについても「何故か？」をじっくりと考える必要がありそうです。3 月 AP 研は台湾です。3 月の「戯言」はお休みです。



<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 堀俊和（福井大学）

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org